



様々な思いやり ～2学期始業式 校長講話より～

今から14年前の8月10日、私の不注意で大きな交通事故が起きてしまいました。妻は頭を打ち、意識不明の重体。二男はシートベルトの圧力で腸管破裂。娘は打撲。私は右の鎖骨骨折、肋骨3本にひびが入り、全員入院しました。娘の「お母さん、死なないで」という叫び声が、今でも耳に残っています。

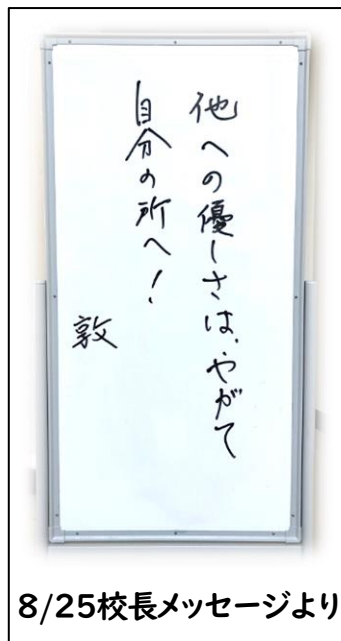
私は自らを責め、家族の回復を祈りました。様々な人からの支えがあり、全員が回復し、今は元気で暮らしています。そのときに人の優しさや思いやりを感じることができました。事故に遭ったことを知り、たくさんの人が見舞いに来てくれました。何回も足を運んでくださった方、電話で励ましてくださった方。不安な気持ちでいっぱいだった私にとって大きな心の支えとなりました。そのような中で、二人の思いやりは今でも忘れられません。

一人は妻のいとこです。それまでは1・2回あった程度で、ゆっくり話すこともありませんでした。自分自身もバイクに乗っていて、左折するトラックのタイヤの下敷きになり、頭蓋骨を骨折した経験のある方です。その事故で彼は1ヶ月意識が戻らなかったそうです。意識が戻らない私の妻を見ながら、「田中さん、絶対に治るから心配いらないよ」と自分の経験をもとに親身になって私を勇気づけてくれました。私を支えてくれた、温かい言葉掛けでした。

もう一人は当時、私が勤務していた校長先生です。見舞ってくれ、私を待合室に誘い、「コーヒーでも飲もう」と声をかけてくれました。周囲に誰もいなかったので、叱られるかなと思っていたら、「敦さん、大変だったな」と一言だけ言い、しばらく二人で無言の時間を30分ほど共有しました。最後に「心配いらんぞ」と言って帰って行かれました。そのときに無言の優しさ、思いやりを感じました。今でもこの二人は、わたしにとってかけがえのない人です。

誰かが困っていたり、苦しんでいたりと、失敗したら、親身になって一緒に考えてくれる。優しい言葉や温かい言葉をかけてくれる事も「思いやり」。あえてそのことに触れずに黙っていてあげることも「思

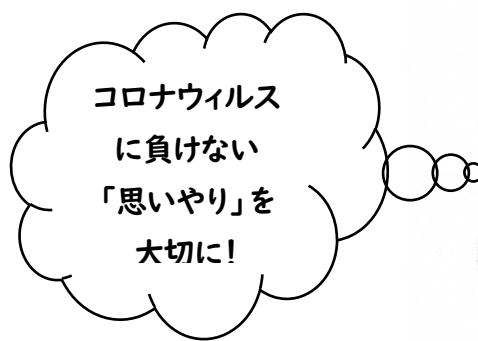
いやり」。「思いやり」にもいろいろな形があります。夏休み中も当校で様々な思いやりのある場面がみられました。下校途中、具合が悪くなった生徒を介抱してくれた3年生の女子生徒がいました。野球部の練習試合の際、青海中学校の保護者の方がトイレを使ったお礼にトイレットペーパーを置いていってくれました。サッカー部の生徒が、職員の作業を手伝ってくれました。体育祭のパネル係の生徒が、自分たちできちんと後片付けをしてくれました。どれも心が温まる素晴らしい行為です。これからも私たちはいろいろな場面で「思いやり」をもった生活をしていきたいものです。



8/25校長メッセージより



コロナウィルスが猛威を振るっています。私たちのすぐそばまでその危険は迫っていると感じます。学校や家でも感染予防に心がけましょう。また、身の回りで感染者が出るかもしれません。SNS等で根も葉もない嘘やうわさをまき散らす、誹謗中傷を行う、などの卑劣な行為は絶対行わないようにみんなで注意していきましょう。頸城中の生徒には、そんなさみしい人間になってほしくありません。そのようなときにこそ、私たちは「思いやり」の気持ちを思い出したいものです。そして誰もが楽しく、穏やかな2学期にしていきたいと思います。



頸城中生徒の活躍 ～これからも応援をお願いします～

◆3年生の締めくくり大会

バレーボール部(7/19) **ブロック優勝**

対 直江津中 2-0 勝 対 直江津中等 2-0 勝 対 能生中 2-0 勝

野球部(7/23) **ブロック優勝**

対 名立中 3-0 勝 対 妙高高原中 9-2 勝

◆新人陸上大会(9/11) 陸上競技部

◆1年男子100m ハードル

4位 保高 悠人 さん 19秒36

◆2年男子走高跳

1位 大島 蓮 さん 1m60

5位 太田 吏基 さん 1m55

◆2年男子走幅跳

2位 池田 翔太 さん 5m31

◆2年男子100m

6位 金子 亜羽 さん 12秒41

◆2年男子200m

6位 金子 亜羽 さん 25秒63

◆共通男子4×100m リレー

8位 51秒74

大滝 航輝 さん、池田 翔太 さん、
保高 悠人 さん、金子 亜羽 さん

◆1年女子砲丸投

1位 内山 愛果 さん 6m04

◆1年女子走幅跳

2位 木口 愛華 さん 4m33

3位 岩淵天瑠羽 さん 3m98

5位 菅谷 もも さん 3m94

◆1年女子走高跳

3位 渡部 愛美 さん 1m20

◆1年女子100m

4位 木口 愛華 さん 14秒36

◆1年女子100m ハードル

7位 山田 葉月 さん 20秒79

◆共通女子4×100m リレー

7位 57秒81

菅谷 もも さん、内山 志穂 さん、
岩淵天瑠羽 さん、木口 愛華 さん

PTA 親子奉仕活動 ～早朝からありがとうございました～

8月1日（土）にPTA 厚生部主催による校舎の美化活動が行われました。生徒・保護者総勢243名が持ち場を分担し、校舎の清掃と教室や体育館のワックス掛けを行いました。

普段清掃が行き届かない細かい場所まで、時間を掛けて丁寧に清掃し、校舎が見違えるようにきれいになりました。奉仕活動にご協力くださった生徒・保護者の皆さん、ありがとうございました。



体育祭を開催しました

9月5日（土）、高く抜けた青空の下、令和2年度の体育祭を開催しました。コロナ禍の影響で、午前半日日程となるなど、多くの制限下での開催でした。しかし、生徒たちは精一杯工夫を凝らし、頸城中らしい体育祭を創り上げました。

生徒同士の密集を避けるため、生徒応援席には例年の3倍ほどのテントを用意しました。また、飛沫を防止するため、軍全体で大声を出しての応援は取りやめることとし、メインイベントでもある応援合戦も声出しと密集ができませんでした。しかし、生徒はダンスや鳴り物等の道具を工夫し、十分魅せてくれました。

当日の競技も例年とは大きく様変わりしました。女子団体種目の米騒動（タイヤ取り）は密集を避けて1対1の対決に、男子団体種目の騎馬戦は間隔を確保しての綱引きとなりました。全校種目の大玉ジャンプも密集を避け、大玉リレーに生まれ変わりました。前年度の競技計画を踏襲するのではなく、1から計画をつくり、生徒の力で準備・運営することは想像を絶する困難がありました。しかし、生徒は最後まで実直に取り組み、やり遂げました。

開会式の後、全校生徒と教職員で二重の輪を作り、ドローンで記念撮影しました。頸城中の「絆」を形づくる恒例イベント「絆プロジェクト」として、生徒会リーダーを中心に計画を進めてきた企画です。

「本当は、保護者や地域の皆さんにも輪に入っていたかったです」

生徒会リーダーたちの想いは、必ず後輩たちが受け継いでいってくれることと思います。



体育祭フォトメモリーズ

